

子ども達の笑顔がキラキラ！

10月18日(日)に、第30回の体育祭を開かせていただきました。5月開催を思い切って10月にずらしましたが、まだコロナ禍の中での開催となり、保護者テントの設営を遠慮してもらったり、種目を厳選し午前中だけになったりと、いつもと違う体育祭になりました。

当日は晴天に恵まれ、日本晴れの下での体育祭になりました。100m走では、ゴールして決勝に並んでいる子どもたちが、走っている仲間に「がんばれー！」と応援の歓声を上げている顔が、秋の日差しに照らされ、輝いていました。学級全員リレーでも、大きく離されている学級も、最後まであきらめずに全力で走る姿は美しく、感動しました。



最後に啓成中学校体育祭伝統のダンス！3年生が、曲の選定・動きや隊形の構成・動きの指導などすべてを行い、青分団も赤分団も甲乙つけがたい出来栄でした。2つの分団共に、手に持ったポンポンの「シャカシャカ」という音、足踏みの音、隊形移動の駆け足の音など、選曲された曲にベストマッチして、分団が1つになっていました。



秋になった体育祭でしたが、この体育祭を通して、子ども達も私たち教師も、改めて一つになるという大切さと、同じ目標に向かって動くという素晴らしさを感じ取ることができました。すべての仲間にありがとうと言いたい気持ちです。

修学旅行の実施を決めました。

修学旅行は、学校教育活動における重要な学校行事として考えています。その教育的意義は大きく、子ども達にとっては学校生活の中で最も強い印象に残る行事と考えます。

今回、新型コロナウイルス感染症が広がっている中、その感染防止を図りながら修学旅行を実施するために、旅行業者と連携をし、感染症防止のための本校としてのガイドラインを作り、現状で考えられるもっとも最良の対策を講じ、修学旅行を実施することにしました。

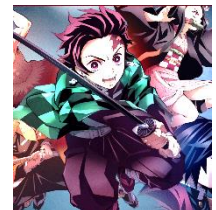
主な感染防止対策では、出発2週間前より検温体調チェックにより体調管理、貸切バスを中型バスから大型バスへ変更、鹿児島での自主研修は中止、知覧平和会館など見学地はクラスごと、少人数で見学、不特定多数の接触回避のため、グリーンランドは中止、食事はセットメニュー、1部屋3～4名、部屋風呂を使用、お土産はホテル内売店にて購入などです。

これ以上の感染が広がらないように、すべての人が感染防止の意識をさらに高めてもらいたいと思います。



なぜ「鬼滅の刃」が人気なのか？

日本中を席卷しているアニメ「鬼滅の刃」。人を喰らう鬼たちと、それと戦う若者たちのお話になります。ここまで人々を魅了しているのは、主人公の家族愛と兄弟愛、倒されても倒されても、あきらめずに妹のために頑張る姿がかもしれません。今、人に必要なことを言ってくれていると私は感じます。



「Never give up(ネバー ギブ アップ)」って簡単に言いますが、これが一番難しいこと。主人公「竈門炭治郎」のように、守るべきものを全力で、あきらめずに守っていきたいものです。